

第二回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：瑠璃

【日時】

8月4日（木）19：00～21：00

【場所】

荒川区役所 庁議室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ4：今日の話し合いの内容確認

ステップ2：議論の進め方

ステップ5：その他

ステップ3：荒川のよい点・悪い点を話し合う

ステップ1：はじめに

【前回の話し合いの内容確認】

ファシリテーターにより、前回の話の内容確認がなされた。

【自己紹介】

前回の欠席者を中心に自己紹介を行なった。

ステップ2：議論の進め方

前回議論が途中になったため、再度本グループとしての話し合いのすすめ方について議論した。

【議論の具体化】

- ・ 議論の取っ掛かりがないと、フリートークではまとまりが出ないので、荒川区のよいところ悪いところから議論を始めてはどうか。

【委員登録時の情報の活用】

- ・ 委員の登録時の関心事などをまとめると、関心のあるテーマ、トピックが整理できるのではないかと。個人名を伏せて、情報を共有すべきである。
- ・ 当グループの委員の登録時のデータは集計して、資料としてお渡しする。懇談会全体については可能かどうか、区と検討する。

ステップ3：荒川区のよいところ、悪いところ

【荒川区のよいところ・悪い点の検討】

委員にカードを配布し、荒川のよいところ悪いところについて書き出していただいた。その後、カードを回収し、模造紙にテーマごとに整理をした。全体的には、よい点として、公園がある、下町のコミュニティ・文化・商店街がある、産業助成、交通便利、問題点として、

道路が狭い、バリアがある、福祉が遅れている、住みにくいイメージ・地味なイメージ、防犯的な不安、放置自転車、伝統産業が消える、教育、行政の情報発信不足などのテーマが出された。

【委員の意見】

(街路にセンスが感じられない)

- ・ 植木と歩道の統一性が感じられないなど。

(放置自転車)

- ・ 放置自転車は日暮里駅、町屋駅周辺に多い。

(産業助成)

- ・ ベンチャー、創業支援に非常によい制度がある。

(教育)

- ・ 区によっては9年制の一貫教育で英語を重視するなどの例がある。区外へ越境入学している児童がいて、区の教育に魅力を出すことが必要。

(情報公開・発信)

- ・ 区がやっている施策などが分かりづらい。
- ・ 例えばフリーサイクルは知らない間に終わってしまった。また、産業支援の施策や都市整備の計画に関する情報も十分に伝わってこない。

(防犯)

- ・ 公園のゴミ、ホームレスの問題を感じる。駅高架の下が暗く、危ない感じがする。電柱に防犯ベルをつけるなどの工夫はないか。

(外国人居住)

- ・ 防犯の問題もあるが、相互理解のためにも交流の必要性がある。

(交通)

- ・ 日暮里は山手線駅なのに地味である。現在再開発されているが、通過人口が増えるばかりで、街に人が来る魅力や受け入れ態勢が不十分である。ターミナル駅のバリアフリー化もなかなか実現しない。街の整備と魅力づくり双方が関連する問題だが、全体像がみえず、今後どうなるかが市民としてなかなかわかりづらい。

(住みにくいイメージ)

- ・ 一方で住民にとっては、繁華街がなく住みやすいとの感想もある。中途半端に発展しているところがかえって良さになっている可能性もある。

(荒川の良さ)

- ・ いくつか潜在的な魅力はあるはずだが、そうした資源を生かす努力が十分とは言えないのでは。
- ・ 荒川の良さについてのPRをもう少ししても良い。

(高齢者福祉)

- ・ 日中高齢者がひとりになるため、その間の健康・防犯上の不安が感じられる。
- ・ 定期的に安否を確認してくれるような仕組みがないだろうかと思う。

ステップ4：今日の話し合いの内容確認

本日カードにより出されたテーマ、また委員登録時の情報をまとめて、整理したものを次回提出させていただき、重点テーマについて、議論を深める。

【送付された基本構想について】

・送付されてきた基本構想のようなものを作成するのか？現在の施策のレビューから始めるべきではないか。

懇談会は提言が目標であり、構想自体を作成するわけではないので、現在の基本構想はあくまで参考資料としてごらんいただきたい。

ステップ5：その他

【次回について】

・次回は9月13日（火） 19：00より。